

製品名: ABCAC ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06402**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:50-1:300, ICC/IF 1:50-1:200
分子量	285kDa

抗原情報

遺伝子名	ABCA12
別名	ABC12
遺伝子 ID	26154.0
SwissProt ID	Q86UK0
免疫原	ヒトタンパク質由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 2170~2250

背景

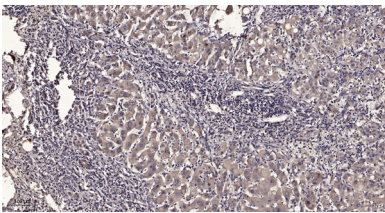
この遺伝子によってコードされる膜関連タンパク質は、ATP 結合カセット (ABC) トランスポーターのスーパーファミリーのメンバーです。ABC タンパク質は、細胞外膜と細胞内膜を越えてさまざまな分子を輸送します。ABC 遺伝子は、7つの異なるサブファミ

リー (ABC1、MDR/TAP、MRP、ALD、OABP、GCN20、および White) に分類されます。このコードされているタンパク質は、多細胞真核生物にのみ見られる唯一の主要な ABC サブファミリーである ABC1 サブファミリーのメンバーです。この遺伝子の選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、代替製品: 追加のアイソフォームが存在するようです、疾患: ABCA12 の欠陥は、ハーレクイン魚鱗癬 (HI) [MIM: 242500] の原因です。ハーレクイン胎児としても知られています。HI は非常に重篤な皮膚疾患で、新生児は厚い鎧のような鱗で覆われて生まれます。皮膚が乾燥して、亀裂で区切られた硬いダイヤモンド形のプラークを形成し、「装甲板」に似た状態になります。正常な顔貌は著しく損なわれ、唇 (白癬)、まぶた (外反)、耳、鼻孔が変形します。罹患した赤ちゃんは未熟児で生まれることが多く、周産期を生き延びることはまれです。、疾患: ABCA12 の欠陥は、層状魚鱗癬 2 型 (LI2) [MIM:601277] の原因です。これは先天性魚鱗癬 IIB 型 (ICR2B) としても知られています。LI は非水疱性魚鱗癬であり、表皮の異常な角化を特徴とする皮膚疾患です。出生時に明らかであり、生涯にわたって持続する魚鱗癬の最も重篤な形態の 1 つです。LI 患者は、コロジオン膜と呼ばれる密で光沢のある半透明の被膜に包まれて生まれます。生後数週間で、コロジオン膜は徐々に、紅皮症がほとんどないか全くない、全体的に大きな暗褐色の板状の鱗屑に置き換わります。顔面皮膚の緊張は、一般的に外反、薄唇、頭皮の瘢痕性脱毛症を引き起こします。一般的な合併症は、重度の耐熱性低下と再発性耳感染症です。、ドメイン: 2 つの相同な半分を持つ多機能性ポリペプチドで、それぞれに疎水性膜アンカードメインと ATP 結合カセット (ABC) ドメインが含まれます。、機能: 脂質恒常性に関与するトランスポーターと考えられます。、類似性: ABC トランスポーターファミリーに属します。ABCA サブファミリー。、類似性: 2 つの ABC トランスポータードメインを含みます。、組織特異性: 主に胃、胎盤、精巣、胎児の脳で発現します。、

研究分野

ABC トランスポーター;

画像データ



パラフィン包埋ヒト肝癌の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°C で一晩)。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、45 分)。